

広報にしあいづ

令和
2年
4月号

Mar. 2020 No.738

Nishiaizu



「西会津かるた」で
郷土の歴史と文化に触れる

もくじ - Contents -

P 2 令和2年度 町政方針

P 8 まちの話題

町長杯親善輪投げ大会、西会津高校卒業式、
佐藤嘉子さんへ百歳賀寿 ほか

P 12 町からのお知らせ&ニュース

令和元年度町教育顕彰表彰式 ほか

町政方針

町政執行にあたっての基本方針

令和2年度は、引き続き西会津町総合計画（第4次）に基づき、町の将来像「笑顔つながり 夢ふくらむまち ～ずーっと、西会津～」の実現に向け、「健やかな人をとともに育むまちづくり」「おんこ そうしん 温故創新 ちさんちしょう 地産地笑のまちづくり」「いきいき健康 ところつながる まちづくり」「誰もがこちよく暮らせるまちづくり」の方向性の下、各種事業を総合的に実施していきます。

特に、人口減少対策の3本柱として「人材育成」「移住定住の促進」そして「健康長寿」を事業推進の基本的な考え方に据え、取り組んでいきます。

健やかな人
をと
ともに
育む
まちづくり

子育て支援

町の将来を担う子供たちの健やかな成長に向け、安心して子供を産み育てられる環境の充実を図っていきます。

今年度は新たにインフルエ
ンザ予防接種の無償化や、放
課後児童クラブにおける2人
目以降の無償化を実施すると
ともに、国の制度に先行して
行った保育料の無償化、出産
祝金や乳幼児家庭子育て応援
金の支給などにより、子育て
世代の経済的な負担を軽減し
ていきます。

こゆりこども園については、認定こども園として就学
前の乳幼児の教育・保育を行
うほか、子育て支援センタ―

として児童福祉や母子保健の
実施、子育て広場・放課後児
童クラブの開催など、安心し
て子育てができる場の提供を
行い、隣接する小・中学校と
のスムーズな事業連携や共同
活動などを行う体制づくりに
努めていきます。

また、本町児童のむし歯有
病率は国・県と比較し高いこ
とから、子供のころからの歯
磨き習慣の指導に加え、「フッ
化物洗口」にも取り組んでい
きます。

教育環境

「プログラミング教育」や
「英語」が小学校で必修化さ
れることから、子供たちに求
められるプログラミング的思
考を育むため、ICT機器を
積極的に活用した教育を引き
続き進めるとともに、産官学
民と連携しICT教育環境の
整備と充実を図り、教育改革
を推進していきます。

また、非認知能力の向上を
図るため、町の歴史や文化、
自然、産業などを学ぶ「西会

生涯学習

生涯を通じた人材の育成を
目指し、新たに男性の生きが
いづくりを応援する講座や町
の伝統産業である和紙につい
て学ぶ講座などを開催し、町
民の皆さんが主体的に生涯学
習に取り組める場を提供して
いきます。

また、読書を推進し、学校
と連携しながら児童生徒の国
語力の向上に取り組んでいき
ます。

スポーツ

運動の習慣化に向けニュー
スポーツの普及を進めるほ
か、ふくしま駅伝などの市町
村対抗競技の競技力向上やス
ポーツ少年団などの団体支援
を引き続き行っていきます。

本年度は奥川健康マラソン
大会が第45回の記念大会とな
ることから、招待選手を招く
など、大会をさらに盛り上げ
ていきます。

歴史・文化・芸術

英国の冒険家イザベラ・
バードのゆかりの地である
「車峠」を題材とした講演会
の実施や、伝統芸能である「屋
敷の人形芝居」の復興に向け
た保存会の設立など、歴史・
文化や伝統芸能の継承を支援
していきます。

温故創新
地産地笑
のまちづくり

農林業

担い手不足、鳥獣被害の拡
大、異常気象など、農林業を
取り巻く環境は依然として厳
しい状況が続いています。町



西会津こども研幾塾第1期生の皆さん

津こども研幾塾」や、国際社
会に対応できるコミュニケー
ション能力を身に付けるため
に、英語による宿泊体験活動
の実施や英語検定料に対する
補助制度を新たに導入するな
ど、教育に必要な不易と流行
を融合・継承しながら、町の
次代を担う人材を育成する事
業に継続して取り組んでいき
ます。

さらに、小・中学校長が作
成した学校運営基本方針への
意見提言などを行う「学校運
営協議会（コミュニケーション・ス
クール制度）」を導入し、地
域学校協働本部事業と併せ、
地域の皆さんが学校運営に参
画しながら、地域とともにあ
る、開かれた学校運営を進め
ていきます。

では、米・ミネラル野菜・菌
床キノコの振興を3本柱とし、
農林業の所得向上を目指し、
地域の実情に沿った振興策に
取り組んでいきます。

また、鳥獣被害軽減に向
け、地域の皆さんとともに捕
獲と被害防止、環境整備対策
をさらに強化していきます。

◎鳥獣被害対策

町の最重要課題と位置付
け、積極的な予算計上を行
い、被害軽減の効果を目に見
える形で示せるよう各種対策
を強化していきます。また、
有害鳥獣の出没時に迅速に対
応できるよう2人体制のパト
ロールを継続していきます。
イノシシ対策については、
生態の把握と捕獲技術の向上
が課題となっており、ることか
ら、ICTを活用した対策や
専門家の招致、ワナ猟免許の
取得や巻狩り拡充への支援、
捕獲報奨金の増額、ワナの増
設や電気柵の設置拡大などに
重点を置き、複合的に取り組
んでいきます。



◎西会津産米

本町の主要農産物である米については、品質の向上を図るため、西会津一うまい米コンテストの開催や全国コンクールへの出品などを引き続き実施するほか、雪室を活用した西会津産米のブランド化を進めるため、雪室貯蔵施設の修繕と管理運営方式の見直しを進めていきます。

◎ミネラル栽培

中嶋農法の認証取得とスマート農業の導入を支援し、生産と販売の両面での効果を検証します。

また、生産の拡大や高収益な新規作物の推進、若手農家の参入と育成のために、栽培指導専門員2名による生産技術の向上と経営発展に向けた支援を行い、産地化・ブランド化を進めていきます。冬期間の生産・販売の体制強化についても、生産者と関係機関が一体となり、対応していきます。

◎菌床キノコ

町のパイプハウスリース事業の推進や生産者の法人化に

や、交流人口の拡大を図っていきます。

さらに、「西会津応援大使」の皆さんと連携し、情報の収集と町の情報発信を行うなど、地域の活性化につなげていきます。

移住・定住

若者の移住・定住を促進するため「定住促進事業補助金」を継続するほか、「ワーカーインレジデンス事業」の推進により新たな起業と定住の促進を図っていきます。

また、移住定住の基盤となる住環境の整備として昨年度から着手した若者向け住宅については、10月の供用開始に向け整備を進めています。

さらに、移住・定住や二地域居住の推進については、空き家バンクの充実やお試し移住住宅の活用を推進するとともに、西会津国際芸術村に窓口のある「移住・定住総合支援センター」と連携し、移住者の増加に向けて取り組んでいきます。

より生産体制が確立しつつあり、新規参入者の増加も見込まれる成長産業となつてきています。

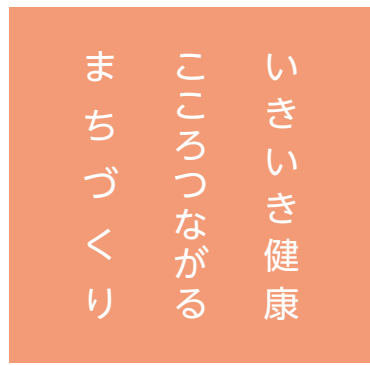
町では大規模産地化の推進に向け、菌床パイプハウスの団地化に取り組んでおり、昨年度までのリース件数は35棟になりました。新規参入者の生産基盤の安定を図るため、本年度もパイプハウスのリース事業を継続していきます。

◎風評払拭

福島第一原発事故に伴う農林産物への風評被害が現在も続いていることから、引き続きモニタリング検査などにより、安全・安心な農林産物の出荷や販売に取り組んでいきます。

なお、米の検査につきましては、福島県では平成27年度米以降の全量全袋検査において、放射性物質の基準値を超える米が出ていないことから、令和2年度米から一部地域を除き抽出検査に移行することになりました。

また、風評払拭に向け、会津よつば農業協同組合と共同



健康づくり

健康寿命の延伸や健康づく

りを目指し、「第2期西会津町健康増進計画」を策定しました。本計画に基づき、これまで町が取り組んできた健康づくりを礎として、「幸せになる健康づくり」『百歳への挑戦』のその先へ」をキャッチフレーズに、健康づくりを通して町民一人一人の幸せの実現に向け、町民と行政が一体となつて取り組んでいきます。また、引き続き鎌田實先生の助言や指導を受けながら、各種事業を積極的に推進していきます。

さらに、食生活改善推進員や健康運動推進員の活動を強

で行ってきた農林産物のトップセールスを継続するとともに、会津17市町村合同のトップセールスにも積極的に取り組んでいきます。

商工業

個人事業主を含めた企業などへの支援策として、「中小企業振興資金融資制度貸付事業」や「中小企業融資制度資金利子補給補助事業」「企業支援補助金」などを継続するほか、会津大学と連携しICTを活用した企業支援を進めていきます。

また、「無料職業紹介事業」による地元企業の求人情報の提供や、「創業支援事業」「空き店舗及び空家利活用補助事業」などにより、新たな創業への支援を図っていきます。

観光・交流

「西会津なつかしcarショー」を5月31日に実施するよう準備を進めており、「西会津ふるさとまつり」およ



町内外から多くの人が訪れる「なつかしcarショー」

び「西会津雪国まつり」の開催と合わせ、町内外から多くの人が訪れるイベントを実施し、関係人口・交流人口の拡大を図っていきます。

また、今年の西会津ふるさとまつりは35回の節目を迎えることから、活気と魅力ある町を町内外に発信できるイベントにしていきたいと考えています。

さらに、にしいあいつ観光交流協会などの関係団体と連携し、旧越後街道の活用や広域的な周遊観光の促進に取り組むほか、地域活性化に取り組む団体などを支援する「活力ある地域づくり支援事業」を継続し、地域資源の磨き上げ

計画」に基づき、元気な高齢者から要介護高齢者まで全ての高齢者の皆さんが切れ目なく介護予防や重度化予防に取り組むことのできる体制を整備し、医療と介護サービスがスムーズに連携できるような支援体制づくりを進めていきます。

認知症に関連する相談も増えていることから、本人やその家族への支援に加え、認知症に関する啓発や地域への理解を広げるなど、認知症に優しいまちづくりを進めていきます。

新たな介護施設の整備については、奥川地区の遊休公共施設を活用し、「小規模多機能型居宅介護施設」を整備していきます。

また、高齢になつても住み慣れた地域でその人らしい生活ができるよう、サロンや地域のネットワークづくりを支援するとともに、見守り協定を締結している郵便局や宅配業者などとの連携を強化し、地域の見守り体制を充実させていきます。



町議会3月定例会で薄友喜町長が所信を表明しました

「賑やかで何かが起きそうな町」に向け職員一丸となり取り組んでいく

町長に就任して以来、町民の皆さんとの公約の実現に向け、全力で取り組んでまいりました。昨年は平成から令和へと元号が変わり、新しい時代が幕を開けました。同時に、町制施行65周年の節目の年と重なり、これまで西会津町を築いてこられた先人諸氏ならびに町民の皆さんに、改めて敬意と感謝の意を表するとともに、これまで築き上げてきたさまざまな土台の上に、新しい思考やまちづくり、ものづくり、ひとづくりを融合させ、新しい西会津町を築いていく決意を新たにしましたところ。

令和2度は、西会津町総合計画で定めた町の将来像やまちづくりの方向性に基づき、各種施策をしっかりと進めていくこととし、本町発展のために最大限の努力をしていく覚悟です。

町に活気を取り戻し、全国から人が来ていただける「賑やかで何かが起きそうな町」にするため、職員と一丸となり取り組んでまいります。



では、防災行政無線のデジタル化整備を継続して進めていきます。

空き家などの対策としては、昨年度に実施した空家調査の結果を基に「空家等対策計画」を策定し、空き家などの活用を促進していくほか、適正に管理されていない空き家などについては、所有者に対して指導などの措置を行い、安全・安心のまちづくりを推進していきます。

老朽化が進んでいるさゆり公園施設の計画的な更新により

自然・環境保全

上・下水道の整備

安全で安定した飲料水を供給するため、老朽管や施設設備の更新を計画的に進めていきます。また、下水道については、施設の長寿命化と施設の統合により効率的な運営に努めるとともに、個別排水処理事業の普及促進を図っていきます。

協働のまちづくり

「まちづくり基本条例」に基づく協働のまちづくりを推進し、効率的で効果的な事業運営を図り、健全な行政運営に努めていきます。

また「ふるさと納税」につ

計画の推進に向けた取り組み

新たなまちづくり

町の中心部である野沢・尾野本地区の将来構想である「中心エリア整備構想」の本格的な検討に着手していきま

解とご協力をお願いします。



社会福祉

「西会津町社会福祉協議会」や「西会津町授産場」などと連携しながら、誰もが共に安心して生活できるまちづくりに取り組んでいきます。

コミュニティ

集落機能の維持や活性化に向け、引き続き集落支援員および集落支援担当の地域おこし協力隊を配置し、集落機能の低下が著しい集落を中心に支援を強化していきます。

奥川・中町地区に整備した集落支援拠点施設を有効活用し、ボランティアや学生などの町外からの支援者の受け入れ体制を強化していきます。



雪対策

町雪対策基本計画に基づいた取り組みを進め、町民生活に支障を来すことのないよう道路除雪に努めるとともに、除排雪に必要な施設整備をはじめ、除雪ドーザーの更新やグレーダーの整備を進めていきます。

また、高齢者世帯などが冬期間でも安心した生活が送れるよう、雪処理支援隊の充実と除排雪費用助成事業を進めていきます。

交通体系道路網

町民バスについては、デマンドバスの利便性の向上に向

けた運行ダイヤの検討や当日予約の時間短縮などの取り組みに加え、3つの定時定路線を追加し、よりきめ細かなバスの運行を実施しています。

町民の皆さんからも好評をいただいておりますが、今後も評価・検証を重ね、改善を図りながら利便性の向上に努めていきます。

道路網の整備については、安全・安心の確保と良質な社会資本を将来に引き継ぐため、効果的な整備と効率的な維持管理に努めていきます。

また、町道の改良事業は地域からの要望などに基づき計画的に整備を進めていきます。

老朽化している橋梁やスノーシェッドなどの修繕については点検結果や長寿命化修繕計画に基づき、損傷度や路線の重要度などを勘案しながら計画的に修繕を進めていきます。

また、舗装についても路面性状の調査により計画的に修繕を進めていきます。

合わせて、農道・林道のうち、生活道路として利用しているものについては、その目

情報通信

情報通信基盤の整備については、映像機器高度化更新事業によりBSデジタル4K・8K放送への対応を計画的に進めていきます。

消防防災安全対策

消防設備については、防火水槽2基を更新整備するほか、芝草消防屯所の改修など設備の充実を図るとともに、消防関係団体と連携しながら予防消防の徹底を図っていきます。

また、防災対策につい

的に合った維持管理に努めていきます。

国・県道については、町の重要幹線として、その整備や適正な維持管理を関係機関へ引き続き要望してまいります。

特に町縦貫道路の区間については早期完成に向けた整備促進を積極的に要望し、国道400号および459号の整備促進についても強く働きかけていきます。

学びやを後に 新たな門出
西高で卒業証書授与式

3月1日、西会津高校で卒業証書授与式が行われ、卒業生が人生の新たな一歩を踏み出しました。

式では吉井秀樹校長が卒業生一人一人に証書を手渡し、「感謝の気持ちを忘れずに、福島で生まれ育ったことに誇りを持ち、使命感を持って、たゆまぬ努力を続けてください」と式辞を述べ、薄町長が卒業生へはなむけの言葉を贈りました。卒業生を代表し、鎌倉アルテミスさんが「私たちはこれからそれぞれの道に進みます。途中で悩み、壁にぶつかったときには先生方から学んだことや高校で培った経験を生かし、前へ進んでいきます。この3年間を一生忘れません」と答辞を述べました。



1. 卒業生を代表し答辞を述べる鎌倉アルテミスさん 2. 卒業証書を受け取る卒業生 3. 蛍の光を全員で斉唱 4. 人生の新たな一歩を踏み出した卒業生

満 100 歳をみんなで祝福
佐藤 嘉子さんへ 百歳賀寿 贈呈

佐藤嘉子さん(出ヶ原)の満100歳を祝う百歳賀寿贈呈式が3月1日、親族の皆さんが見守る中、自宅で行われました。同日に満100歳を迎えた佐藤さんへ賀寿や記念品が贈られ、佐藤さん本人が謝辞を述べました。中学校の教員をしていたご主人と結婚し、4人の子宝に恵まれた佐藤さんは、自身も教員として野沢小や黒沢小などで教鞭を取りました。編み物が得意で、長生きの秘訣は好き嫌いせず何でも食べることや、飼い猫の面倒を見るなど、好きなことをすることと教えてくれました。



百歳賀寿を親族や関係者と祝った佐藤嘉子さん

一年間に最も多くの本を読んだ児童生徒
年間のベストリーダーを表彰

2月19日、西会津中学校で令和元年度ベストリーダーの表彰式が行われました。この賞は、積極的に図書館を利用し一年間の貸出冊数が多かった児童生徒を表彰する賞です。【西会津小】1年＝齋藤大我^{たいが}さん、2年＝田崎愛蓮^{あれん}さん、3年＝西川雫華^{しずか}さん、4年＝小柴望愛^{みえ}さん、5年＝三留夕都莉^{ゆとり}さん、6年＝落合倅^{さち}さん【西会津中】1位＝長谷川柊璃^{しゅり}さん(3年)、2位＝猪俣美咲^{みさき}さん(3年)、3位＝小柴萌愛^{もえ}さん(3年)



左から小柴萌愛さん、長谷川柊璃さん、猪俣美咲さん



狙いを定め 高得点を目指す
町長杯親善輪投げ大会 250人が熱戦！

2月14日、さゆり公園体育館で第25回町長杯親善輪投げ大会が開かれ、参加した約250人の皆さんが高得点を目指し熱戦を繰り広げました。当日は各老人クラブから40チームが参加し、「ピラミッド」、「クロス」、「ミサイル」の3競技で合計得点を競いました。白熱した競技の結果、団体の部では長寿Aチームが優勝を飾り、個人の部では佐藤辰子さんが最優秀賞に輝きました。【団体】優勝＝長寿A、準優勝＝菅本A、第3位＝安座A、富久寿A【個人】最優秀賞＝佐藤辰子(阿賀A)、優秀賞＝小柴龍夫(菅本A)、佐藤清悦(宝川A)、佐藤君子(下野尻A)「敬称略」



町内産ホワイトコーンを使用 西高魅力発信隊 新作のカレーを発表

2月25日、西会津高校魅力発信隊の生徒が新作カレーの完成発表会を行いました。「星空のうさぎ座カレー」と名付けられたこの商品は、町内産ミネラル野菜のホワイトコーンを使用した白色のルーが特徴のカレーで、野菜生産者や町内レストランの皆さんなどの協力により、約3年の期間をかけて開発されました。発表会では魅力発信隊の生徒が商品開発の経緯や特徴などを説明し、発表後は開発に関わった関係者の皆さんと商品を試食しました。

「星空のうさぎ座カレー」は今後、町内で発売される予定です。



新商品の発表を行う西高魅力発信隊の2人



▲町内産ミネラル野菜・ホワイトコーンを使用し、白色のルーが特徴の「星空のうさぎ座カレー」



「星空のうさぎ座カレー」の開発に関わった関係者の皆さん



展示会場を華やかに彩ったつるし雛とひな人形

ふるさと自慢館で ひなまつりの展示会

つるし雛とひな人形 華麗な競演

桃の節句にちなんだ手芸作品の展示会「ひなまつりの展示会」が2月27日から3月2日にかけ、ふるさと自慢館で開かれ、会場を華やかに彩った作品が町内外から訪れた多くの人の目を楽しませました。会場には町内の手芸サークルの皆さんの作品約150点のほか、町へ寄贈された明治時代のひな人形などが飾られ、来場者はつるし雛とひな人形の華やかな競演に見入っていました。29日には作品作りのワークショップも開催されました。

生徒自らが課題を掘り下げる「西会津未来探求学」

西高生 一年間の授業成果を発表

2月26日、西会津高校で生徒による授業の成果発表会が行われました。同校では週に一度、生徒が自ら課題を掘り下げていく課題探求型の授業として「西会津未来探求学」を行っており、この日は1・2年生の9つのグループが、4月から町内事業所の協力を得て取り組んできた授業の成果を発表しました。発表は寸劇などを交えて行われ、会場を訪れた関係者や町民の皆さんへ向け、取り組んだ授業の成果を分かりやすく伝えていました。



一年間の授業の成果を発表する西高生（写真提供＝西会津高）



第2回町長杯 西会津かるた大会 町特製かるたで 郷土に親しむ

第2回町長杯西会津かるた大会が2月22日、西会津小学校で開かれ、参加した児童21人が町の歴史や文化などをテーマにした特製「西会津かるた」を通し、郷土への理解を深めました。対戦は学年別のブロックごとに行われ、白熱した対戦の結果、低学年の部では伊藤陽和さん（2年）、中学年の部では二木優奈さん（3年）、高学年の部では猪俣想さん（5年）が優勝を飾りました。



児童が町と自分の将来見つめ 意見交換

西小6年生 薄町長と懇談会

西会津小6年生と薄町長による懇談会が2月18日、同校で開かれ、児童と町長がまちづくりなどについて意見を交換しました。

この会は、卒業を迎えた児童が卒業への意識を高め、将来についての理想像を持つことを目的に開催されました。はじめに薄町長が町の現状などについて講話し、「町の歴史や文化、魅力を学び、将来は町のために力を貸してほしい。これからは皆さんの時代。その時に町や地域のために何ができるかを考え、また将来の夢や目標を持ち、どうしたら実現できるかを考えながら生活してください」と児童へ呼び掛けました。

その後、児童を代表し、外島和夏さんと鈴木ゆめ花さんがまちづくりのアイデアを提言し、外島さんは、多くの観光客を呼び込むためのスタンプラリーや小学校を高齢者など誰もが使える施設にし、人とのつながりを深めるアイデアを、また、鈴木さんは、若者が除雪を当番で行う制度やこゆりこども園やさゆり公園の魅力を広く発信し、若年・子育て世代を呼び込むアイデアなどを発表しました。



まちづくりのアイデアを提言する外島さん（左）と鈴木さん

西会津小6年Ⅱ五十嵐咲良「さゆりが丘」第10回東北女子相撲選手権大会6年生の部（第3位）、伊藤姫色「西原」第73回福島県下小・中学校音楽祭（第3部創作（作曲））小学校の部銅賞、齋藤遥「尾登」第64回福島県たなばた展（特選）、南朱梨「8町内」第18回福島県会津空手道選手権大会（優勝）

西会津中1年Ⅱ岩原茉佑「7町内」第32回全国マシニング大会福島県大会女子2000歳13〜15歳の部（第1位）、猪俣佳奈「森野」令和元年度福島県造形秀作審査会絵画の部（特選）

西会津中2年Ⅱ江川愛彩美「さゆりが丘」令和元年度福島県造形秀作審査会立体（工

作）の部（特選）

西会津中3年Ⅱ猪俣美咲「森野」令和元年度福島県造形秀作審査会絵画の部（特選）、大槻陽菜「芝草」令和元年度福島県造形秀作審査会絵画の部（特選）、三留拓真「西平」第62回福島県中学校体育大会陸上競技大会男子共通800歳（第8位）

会津若松ザベリオ学園中2年Ⅱ橋谷田元気「2町内」第7回科学の甲子園ジュニア福島大会（第2位）

西会津高2年Ⅱ高津雄大「端村」第53回福島県高等学校新人体育大会ボート競技男子舵手付クオドルプル（第1位）

西会津高3年Ⅱ齋藤優翔「中野」第65回福島県高等学校校体育大会ボート競技男子舵

手付クオドルプル（第2位）

会津高1年Ⅱ伊藤大河「6町内」第64回福島県高等学校駅伝競走大会（第4位）

会津高2年Ⅱ上田昌範「芝草」・佐藤理央「上小島」・須藤諒「松尾」第72回全日本合唱コンクール全国大会高等学校部門Bグループ（金賞並びに岡山県知事賞）

葵高2年Ⅱ荒明ありさ「森野」第59回福島県高等学校新人陸上競技大会女子5000歳競歩（第5位）、五十嵐杏優「さゆりが丘」第71回全日本合唱コンクール東北支部大会高等学校部門Bグループ（金賞）

会津学鳳高1年Ⅱ外島央「下野尻」第74回国民体育大会陸上競技少年女子B走幅跳（第3位）

喜多方高1年Ⅱ鈴木爽夏「森野」第34回東北高等学校選抜ボート大会女子舵手付クオドルプル（第6位）

喜多方高2年Ⅱ齋藤陽奈「尾登」第34回東北高等学校選抜ボート大会女子舵手付クオドルプル（第6位）



▲教育長より一人一人に表彰状が贈られました

令和元年度耶麻地区学校教育研究作品展（共同研究の部）

激励賞Ⅱ西会津中学校「読解力の向上を目指した授業のあり方」

入選Ⅱ西会津小学校「ひとりひとりの子どもの自己実現のための授業充実計画」



町内児童生徒がさまざまな分野で大活躍！ 功績たたえ 教育顕彰表彰式

町教育委員会では2月21日、西会津小学校多目的ホールにて令和元年度町教育顕彰表彰式を開催しました。本年度は個人表彰が37人、団体表彰が4団体と、児童生徒がさまざまな分野で活躍しました。当日は耶麻地区学校教育研究作品展の表彰も併せて行われました。表彰式では江添信城教育長が出席した受賞者一人一人へ表彰状を贈り、伊藤一男町議会副議長が「皆さんの活躍は町の誇りです。今後も夢に向かって努力してください」と受賞者を激励しました。受賞者を代表し、落合悠さん（西会津中3年）が「表彰されたことを糧に、今後も町の未来について考えていきます」と謝辞を述べました。

〈令和元年度 町教育顕彰表彰 受賞者〉（敬称略）

1 各種コンクール、競技会等で活躍した児童生徒（個人）

西会津小1年Ⅱ平野良沙「さゆりが丘」第33回福島県小学校児童画展（入賞）

西会津小2年Ⅱ三留七海「4町内」第44回みどりの絵コンクールみどりの絵部門（入選）

西会津小3年Ⅱ眞部煌「芝草」第1回全日本空手道型選手権大会（優勝）、目黒心温「牛尾」第32回極真空手道選手権福島県大会小学3年男子の部（第1位）

西会津小5年Ⅱ小柴ゆい「戸中」第33回福島県小学校

児童画展（入賞）、齋藤くらら「山口」第63回JA共済福島県小・中学生書道コンクール（奨励賞）



受賞者を代表して謝辞を述べた落合悠さん

2 各種コンクール等で活躍した生徒（団体）

喜多方東高2年Ⅱ福地優理奈「10町内」第67回東北ブロック高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会（優秀賞）

福島西高3年Ⅱ高野詩音「芝草」第73回福島県総合美術展覧会洋画の部福島県美術賞（福島県在京美術家協会会長賞）

学法石川高3年Ⅱ高橋由輝「樟山」第10回みんゆう新聞感想文コンクール高校生の部（優秀賞）

郡山女子大学附属高1年Ⅱ三留綾華「西平」第53回福島県高等学校新人体育大会剣道競技女子団体（第2位）

郡山女子大学附属高3年Ⅱ齋藤真白「上野尻」第73回福島県合唱コンクール（銅賞）

西会津中3年Ⅱ異世代交流施設「come on!」福島民報社小中学生まちづくり大賞ふくしまジュニアチャレンジアイデア部門（銅賞）

西会津高西高魅力発信隊Ⅱ第5回ふくしま産業賞 学生部門（学生奨励賞）



28 人の子どもたちが西会津小に入学

ぼくたち わたしたち 新 1 年生

この春、西会津小学校に入学する 28 人の新 1 年生を紹介します。今年の 1 年生は、平成 25 年 4 月 2 日から平成 26 年 4 月 1 日までに生まれた皆さんです。〈問い合わせ先〉 学校教育課 学校教育係 ☎ 45—2216

4 町内	長谷川 蓮くん	安 座 安部 璃冬くん	萱 本 渡部 湊翔くん	上野尻 塚原 快斗くん
7 町内	岩原 岳くん	西 原 江川 空良くん	松 尾 渡部 颯太くん	端 村 沼田 祈吹くん
芝 草	佐藤 快星くん	渡部 涼音さん	築田 千夏さん	熊 沢 佐藤 花音さん
	五十嵐 未来さん	斎藤 結愛さん	長谷川 里桜さん	小清水 長谷沼 夏帆さん
	新城 優成くん	森 野 長谷川 美沙紀さん	山本 彩乃さん	八重窪 武藤 望垂くん
	佐藤 真優さん	水野 春輝くん	山本 唯乃さん	武藤 麗亜さん
堀 越 齋藤 大和くん	萱 本 五十嵐 碧生くん	西林東 山本 唯乃さん	長谷川 春子さん	松 峯 矢部 姫愛さん

お知らせ INFORMATION

ケーブルテレビ
さゆりチャンネル
4 月の放送案内

◆にしあいづニュースワイド

月曜から金曜
午後 6 時 30 分～ほか
行政・地域・学校の話題な
どを放送中！

◆マイビデオ募集中

皆さんからの情報やマイビ
デオをお待ちしています
〈問い合わせ先〉

(二社)西会津ケーブルネット
☎ 45—4 4 6 1

図書館休館日 の変更について

4 月 1 日より、西会津中学
校町民図書館の休館日が次の
とおり変わります。

◆変更後の休館日

毎週月曜日(祝日であつて
も休館となります)

※月曜日が祝日の場合はその
翌日が休館日となっていま
したが、今後は毎週月曜日
が休館日となります

〈問い合わせ先〉

西会津中学校町民図書館
☎ 48—1 1 5 3

地域づくりを応援 「活力ある地域づ くり支援事業」

町では地域の活性化を目指
し、持続可能な事業を自主的
に取り組む町民(団体または
個人)を応援するため、「活
力ある地域づくり支援事業」
を募集します。

町長コラム その 15



令和 2 年度がスタートする。当初予算額は
6 2 億 2 3 0 0 万円で、昨年度より 1 億 9 3 0 0 万円
多い 3. 2 倍の伸びとなった。

その語呂合わせが、「6」=無限の可能性を秘め、「2」
=町ににぎわいを取り戻すために、「2」=ふさわしい、
「3」=魅力あふれる、「0」=令和 2 年度の予算。毎
年語呂合わせを担当するのは会計管理者であり、素晴
らしい語呂合わせである。

この語呂合わせのような町にするために、令和 2 年
度は「人材育成」・「移住定住の促進」・「健康長寿」を
3 本柱として推進していくこととした。

町長就任時から、人口減少や少子高齢化が進む中で
どうしたら活気のある元気で魅力ある町にすることが
できるのかを考えてきた。そんな簡単に答えが出る訳
がない。

都会から地方へ人の流れを変える地方創生総合戦略
から 5 年が経過しようとしているが、一向に東京への
人口流出が止まらない。令和 2 年度から第 2 期の計画
に基づき進めていくことになるが、今やらなければなら
ないことを勇気を持って、多少リスクが伴っても前
に進んでいかなければと強く思う日々である。

工藤副町長が 3 月 31 日をもって県に戻ることに
なった。2 年間の短い期間であったが、本町の行政伸
展に大きな力を発揮してくれた。苦労が多かったと思
うが、心から感謝である。また、奥様やご家族の皆さん
にもお礼を申し上げたい。県に戻っても、新しい部
署での活躍を期待している。健康に留意して頑張っ
てほしいと願っている。2 年間ありがとうございました。

西会津町長 薄 反喜

◆補助金額

1 団体 50 万円以内、総事業
費の 75 割以内(事業費の 25 割
は自己負担です)

※事業の内容により最長 3 年
まで継続が認められる場合
があります

◆申請方法

申請書類に必要事項を記入
し提出してください。申請書
は商工観光課または町ホーム
ページから取得してください

※書類提出前に事業内容につ
いての事前確認が必要です

◆申請受付期限

4 月 9 日(木)

〈申込・問い合わせ先〉

商工観光課 地域振興係
☎ 45—2 2 1 3

令和元年度の除排 雪費用助成が終了

令和元年度の除排雪費用助
成(給付券)事業は、3 月 31
日をもって終了しました。
給付券は、表示してある有
効期限日(令和 2 年 3 月 31
日)以降は使用できません。

未使用の給付券をお持ちの場
合は各自で破棄・処分をお願
いします。

なお、除雪作業の支払いを
給付券で受けた登録事業者の
皆さんは請求漏れの無いよう
ご注意ください(請求は 4 月
中にお願います)。

〈問い合わせ先〉

福祉介護課 福祉係
☎ 45—2 2 1 4

山菜類モニタリ ング検査を受付中

町では、県内で生産または
採取・出荷される栽培きのこ
や野生山菜などの安全性を確
認するため、モニタリング検
査を実施しています。

出荷を希望する人は、採取
が本格化する前の早い時期に
モニタリング検査を実施して
ください。

検査を希望する場合は事前
に問い合わせください。

〈問い合わせ先〉

農林振興課 林政係
☎ 45—4 5 3 1



以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。



特定計量器 の定期検査を 受けましょう

町では、適正な計量の実施を確保するため、特定計量器定期検査を実施します。

◆事前に検査の対象となる はかりの調査を行います

前回検査を受けた事業所などには3月末に文書で通知していますので回答ください。はかりを使用しており、今回初めて検査を受ける人は、はかりの種類を確認する必要がありますので連絡ください。

◆受検方法

次のいずれかの方法で検査を受けてください

①集合検査

計量能力が500g以下の一般小型はかりが該当し、指定された検査期日と場所にはかりを持ち込み実施

◆日時

7月14日（火）午前10時30分～正午

◆場所

町役場（詳細については後

日対象事業所へ連絡します）
②所在場所検査

計量能力が500gを超えるはかりや集合検査への持ち込みが困難なはかりが該当

◆定期検査について

商店や工場、病院、調剤薬局、直売所および事業所などで取引や証明のために使用する「はかり、分銅、おもり」は、計量法によりその正確性を確保するため検定証印の付いたものを使用し、2年に1回の定期検査を受けることが義務付けられています。

〈申込・問い合わせ先〉

福島県計量検定所
☎024-521-7657
商工観光課 商工観光係
☎45-2213

さゆり公園屋外 施設オープン！

暖かい日が増え、スポーツやレジャーに絶好の季節が近づいてきました。

さゆり公園の各種スポーツ施設を利用して体を動かし、

日頃の運動不足を解消しましょう。

◆オープンした施設

◎野球場
◎多目的広場
◎テニスコート

◎ふれあい広場

◆福島レッドホープス公式戦 の開催決定！

5月9日（土）に福島レッドホープス西会津球場で公式戦が行われます。ぜひ応援・観戦にお越しください。

〈問い合わせ先〉

さゆり公園管理棟
☎45-4317

有毒植物に 注意しましょう

山菜取りなどで有毒な野草を誤って採取し食べたことによる食中毒が毎年発生しています。食用の野草と確実に判断できない植物は絶対に採取しないでください。万が一、野草を食べて体調が悪くなった場合はすぐに医師の診察を受けてください。食用と間違

税務署から のお知らせ

振替納税を利用する人は、振替日の前日までに預貯金の残高を確認してください。

残高不足などで口座振替ができなかった場合は、法定納期限の翌日から延滞税が加算されますのでご注意ください。

◆振替日

◎申告所得税および復興特別所得税Ⅱ5月15日（金）

◎個人事業者の消費税および地方消費税Ⅱ5月19日（火）

〈問い合わせ先〉

喜多方税務署
☎0241-245050

ひとり親家庭 支援奨学金制 度のお知らせ

（一財）全国母子寡婦福祉団体協議会では、ひとり親家庭の中学3年生から高校3年生までを対象とした奨学金制度を次のとおり実施します。

◆対象者

中学3年生、高等学校1～3年生、高等専門学校1～3年生

◆応募資格

次の全てに該当すること
①ひとり親世帯であり就学に
関して経済的に困難な生徒
②夢を実現するための意欲が
あり、社会への貢献を希望
している品行方正な生徒
③協議会の会員もしくは入会
を希望する人の子供（生徒）
④協議会理事長の推薦を受け
ることができる生徒

※次の場合は応募できません
◎保護者・扶養家族を基準として世帯一人あたりの平均収入額（令和元年分）が100万円以上の場合

◎令和元年度の学校出席率が80%未満の場合（病気やけがなど正当な理由がある場合を除く）

◎兄弟姉妹による複数の応募があった場合の年少者は不可（1世帯1名の応募）

◆奨学金について

支給額Ⅱ月額3万円
支給期間Ⅱ高校卒業まで
※毎年度継続申請が必要

◆選定方法

第一次選考Ⅱ提出書類による選考
第二次選考Ⅱ面接、作文
最終選考Ⅱ選考委員会により決定

◆書類の提出期限

4月28日（火）必着

◆応募書類の取得方法

協議会のホームページから
もしくは事務局に連絡し取得
〈提出・問い合わせ先〉

（一財）全国母子寡婦福祉団体協議会事務局
☎03-6718-4088
受付時間Ⅱ月～金曜・午前10時～午後4時
<http://zenbo.org/lp01/index.html>

住民票などの手数料改定のお知らせ

令和2年4月1日より、手数料本来の受益者負担の適正化と近隣市町村との状況を踏まえ、住民票などの発行手数料が以下のとおり一部改定します。

〈問い合わせ先〉 町民税務課 町民生活係 ☎45-2215
税 務 係 ☎45-2212

種 類	現 行	改定後
住民票の写し	1 件 200 円	1 件 250 円
戸籍附票の写し		
印鑑登録証明書		
納税証明書		
所得証明書		
課税・非課税証明書		
固定資産評価額証明書		
土地家屋名寄せ帳の写し		
その他証明書		
公簿、図面などの閲覧		

※その他の手数料などについてはお問い合わせください

高齢者を狙った 訪問買取に 注意してください

近頃、町内の高齢者宅において、不用品の買い取りを装い、高価な貴金属などを安値段で無理やり買い取ると

いった事案が発生しています。このような悪質な訪問買取は法律で規制されています。その場で安易に買い取りに応じることはせず、まずは周囲に相談しましょう。

契約後すぐであれば、クーリング・オフ（契約解除）ができる場合があります。

不審に思ったり、トラブルに遭った場合は、すぐに左記まで相談ください。

〈相談・問い合わせ先〉

商工観光課
☎45-2213
県消費生活センター
☎024-521-0999





皆さんこんにちは！
地域おこし協力隊の渡辺です。
今月の集落支援だよりでは、集落支援拠点施設、福島大学生の1年間の活動報告会の様子をお届けします。



地域おこし協力隊 集落支援担当
渡辺 貴洋 隊員

集落支援拠点施設名が決まりました！

昨年11月に奥川・中町集落の空き家を改修して整備した集落支援拠点施設の名前が「結（ゆい）〜（めい）〜」に決定しました。名前には、今ではなくなっていた「結」という文化を新しい形で地域に取り戻したいという思いと、人と人、地域と人を結ぶきっかけをつくる場所にしたという想いが込められています。

この施設は、集落のイベントの手伝いや調査のために町外から訪れた大学生や企業の



福島大学の発表の様子

福島大学生の活動報告会

奥川地区の地域調査やイベントへの参加などを精力的に行っています。活動は本年度で3年目を迎え、学生と地域との継続的な交流が行われています。

2月8日には、福島市で大学生による地域活動の報告会

風しんの抗体検査はお済みですか？ 検査は無料です

昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性は無料で風しんの抗体検査を受けることができます。対象者には令和元年6月にクーポン券が配付されていますので、忘れずに検査を受けましょう。

◆検査を受けられる場所
◎町の健診（働き盛り健診
Ⅱ 7月5日・19日、総合健診Ⅱ 詳しい日程は問い合わせてください）
◎全国の医療機関
◎事業所の健診（勤務先へ問い合わせください）
◆持参するもの
◎クーポン券、保険証
◆予防接種について
抗体検査の結果、抗体価が低い場合には無料で予防接種が受けられます。

◆接種を受けられる場所
◎全国の医療機関
◆持参するもの

少雪による農業用水への対応について

例年になく少雪により、今年は代かき用水などに影響が出る恐れがありますので、次の点に留意ください。

◎農業用水の貯水状況の適正把握に努める
◎農業用水施設の点検や破損箇所の修繕などを行う
◎農業用水の計画的配分に努める
◎農業用水の反復利用などの適切な節水対応を図る

〈問い合わせ先〉
農林振興課 農政係
☎ 45-4531

林業退職金共済制度（林退共）の退職金請求について

林業の仕事に従事したことがあり、その当時に林業退職金共済制度に加入していた人もしくは加入していたかもしれない人で、退職金請求手続きをした心当たりのない人は、退職金を受け取っていない可能性があります。最寄りの支部または本部へ問い合わせください。

〈問い合わせ先〉
独立行政法人勤労者退職金共済機構
林業退職金共済事業本部
☎ 03-6731-2889

多重債務・貸金業に関する相談を受け付けています

財務省福島財務事務所では、借金を抱え、お悩みの皆さんからの相談に応じています。借金の状況を伺い、必要

に応じ、弁護士や司法書士などの専門家に引き継ぎます。相談は無料です。

また、国や県の登録を受けずに貸金業を営む、いわゆる「ヤミ金融」業者には注意ください。利用している貸金業者の登録状況に関する問い合わせなどに関する相談も受け付けています。

〈相談・問い合わせ先〉
財務省福島財務事務所
理財課
☎ 024-533-0064
受付時間Ⅱ 午前8時30分～正午、午後1時～4時30分

春の全国交通安全運動

4月6日（月）～15日（水）の10日間
10日は交通事故死ゼロを目指す日

◆運動スローガン——
「スマホより 横断歩道の 僕を見て」

◆年間スローガン——
「みんながね ルール守れば ほら笑顔」

◆運動の重点
①子供をはじめとする歩行者の安全確保
②高齢運転者などの安全運転の励行
③自転車の安全利用の推進



3月10日、夕焼け空に浮かんだ虹

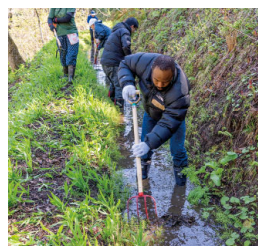
4月のイベント案内

かたくり鑑賞会【4月中旬】



奥川地区にある小屋集落でかたくりの鑑賞会が開かれます。年に1度しか味わうことができない季節限定のイベントにぜひ足を運んでみてください。小屋集落の皆さんとお待ちしています。

人足イベント【4月26日（日）】



集落の人足を手伝いながら、集落の皆さんと参加者が交流する「人足イベント」を行います。今年も福島大学や会津大学の学生が参加予定です。お気軽にご相談ください。

1年の振り返りとこれからに向けて

季節が移ろうのは早いもので、西会津町に来て1年が経ちました。奥川地区の地域調査やイベントへの参加などを精力的に行っています。活動は本年度で3年目を迎え、学生と地域との継続的な交流が行われています。

2月8日には、福島市で大学生による地域活動の報告会

人などが無料で宿泊できる場所として提供しています。これまで福島大学、会津大学の学生計15名の利用がありました。奥川地区に人が集まる流れができてきたので、今後利用人数を増やし、活用していきたいと考えています。

季節が移ろうのは早いもので、西会津町に来て1年が経ちました。奥川地区の地域調査やイベントへの参加などを精力的に行っています。活動は本年度で3年目を迎え、学生と地域との継続的な交流が行われています。

西中図書館 新刊オススメ本



『地球温暖化で雪は減るのか 増えるのか問題』
[川瀬 宏明 著]
ベレ出版

日本には、日本海側を中心に、雪の降る地域がたくさんあります。スキーで雪を楽しむ人もいれば、雪かきや雪下ろしに苦労する人、雪解け水を農業

などに利用する人もいます。そんな身近な雪の「これから」に大きく関わる存在なのが、地球温暖化です。

気温が上がると、降雪は減ってしまうのでしょうか？どうやら、そんな単純なことではないようです。日本でただ一人、雪と地球温暖化を専門に研究する著者が、雪と地球温暖化の関係に迫ります。



『志麻さんちのごはん』
[タサン 志麻 著]
幻冬舎

『NHK 趣味の園芸 12 か月栽培ナビ シクラメン』
[吉田 健一 著]
NHK 出版



『猫君』
[島中 恵 著]
集英社

『しらふで生きる 大酒飲みの決断』
[町田 康 著]
幻冬舎



町民ギャラリー 上野尻俳句会

2月の例会、兼題は「薄氷」。^{うすらい}「薄氷」は、春先ごく薄く張る氷や、解け残った薄い氷のこと。初春の季語。新型コロナウイルスの影響で、2月例会は中止したが、作品は提出してもらった。出句のなかにも、世情が滲む。解けゆく薄氷のように、疫病も平癒してほしい。

上野尻俳句会 会長 星 敬介

軒先の薄氷指でそつと割る

春めきてカバン背負ふ子の振り向かず
子を送る道春めきて照り返す

星 よしこ (上野尻)

薄氷目覚めし魚の姿見ゆ

春めくや里の小川のきらめきて

暖冬や悲喜こもごもの世となりぬ

齋藤 信子 (上野尻)

薄氷の小川の辺り散歩道
桜餅並ぶ店先孫思ふ

感染に沈まり願ふ春寒し

薄 市栄 (上野尻)

4月から屋内は原則禁煙に！ 受動喫煙をなくすための 取り組みが変わります

平成30年7月に受動喫煙対策を強化する改正健康増進法が成立し、学校や病院、行政機関などの敷地内が禁煙となりました。

さらに、令和2年4月からは、2人以上の人が利用する施設、飲食店や会社、工場、集会所なども屋内禁煙となります。喫煙マナーを守り、たばこを吸う人も、吸わない人も、気持ちよく過ごせる社会を目指しましょう。

改正健康増進法の 4つのポイント

- 令和2年4月から
- ① 学校、病院、行政機関などは、敷地内が原則禁煙です。
 - ② 会社や工場だけでなく飲食店や集会所など、多くの施設で屋内が原則禁煙となります。
 - ③ 20歳未満の人は、たとえ喫煙目的でなくとも、喫煙エリアへは立ち入り禁止となります。



令和2年4月から

④ 喫煙室がある場合、標識掲示が義務付けられます。

ります。これについては、たとえば従業員であっても立ち入ることができません。

受動喫煙による 健康被害

喫煙者の皆さんに、
ぜひ読んでほしい！



本人は喫煙しなくとも周りの人のたばこの煙を吸わされてしまう「受動喫煙」は健康に影響を与え、肺がんや脳卒中、気管支喘息などのリスクを高めます。たばこの煙に含まれる有害物質は、喫煙者自身が吸う「主流煙」よりも、たばこの先から直接出る「副流煙」に多く含まれています。

加熱式たばこも 要注意！

日本では、ニコチン入りの電子たばこの販売が法律で禁止されており、たばこの葉を燃えない温度で蒸し焼きにする加熱式たばこの喫煙者が急増しています。

加熱式たばこは、紙巻たばこよりも煙が少なく、有害物質も少ないといわれています。

が、全くないわけではありません。ニコチンや発がん性物質が含まれ、それが周囲の空気汚染することを厚生労働省が発表しています。

禁煙にチャレンジ しませんか？

たばこの煙には、ニコチンや一酸化炭素、70種類の発がん性物質をはじめ、5300種類もの化学物質が含まれています。そのため、大人はもちろんのこと、身体の機能が未熟な子どもにとっては、受動喫煙は深刻な問題です。

受動喫煙をなくすためには、禁煙することが最善の選択です。自身の健康のためにも、禁煙に取り組みしましょう。

町では、禁煙治療に要した治療費の一部を補助しています。禁煙したい人や、禁煙しようか迷っている人などは、この機会にお気軽に相談ください。



戸籍の窓口 (2月受け付け分)

■ まちの人口

	3月1日現在	(前月比)
人 口	6, 1 2 7 人	(- 1 5 人)
男	2, 9 5 4 人	(- 7 人)
女	3, 1 7 3 人	(- 8 人)
世 帯	2, 6 0 8 世帯	(- 2 世帯)

■ ご結婚おめでとう

青木 一浩	4 町内
長谷川 希	柳津町

■ お悔やみ申し上げます

多田 幸助 (99)	修 父	7 町内
長谷川キミ子 (81)	利秋 母	中野
目黒 勇 (87)	輝夫 父	牛尾
平野 禮子 (91)	稔 母	上野尻
堀田 清子 (87)	雅彦 母	上野尻
石川 テル (91)	鉄雄 母	白坂
武藤 ハルノ (83)	昭 母	柴崎
佐久間 良一 (81)	良則 父	中町
坂井 フミ子 (94)	雄司 母	向原

Dream

聞いて！ わたしの夢



[2 年 ・ 野球部 部長]

こう た
山内 耕太 さん

◆私の夢——

私の将来の夢はウェディングプランナーになることです。その理由は、人が人生の中で一番幸せな瞬間が結婚式だと思っていて、その幸せな瞬間に関わっていきたいと考えたからです。

◆努力していること——

笑顔でいることや、元気にあいさつをするなど、明るく生活することを心掛けています。

◆未来の自分に一言——

悔いの残る人生を送らないように、野球に思う存分打ち込んで、たくさん笑って、楽しんでね！

Person

町民バトンタッチ

齋藤 えりか さん [芝草]

- ◆趣味は？
ライブ、音楽鑑賞
- ◆特技は？
お菓子作り
- ◆熱中していることは？
いろんなアーティストの曲を聴くこと
- ◆最近感動したことは？
新型コロナウイルス感染症対策でライブが中止になったアーティストたちの生配信
- ◆自分を一言で表現すると？
マイペース
- ◆あなたのモットーは？
なんとかなる
- ◆これからやってみたいことは？
米粉のお菓子作り
- ◆次の方を紹介してください
A・S さん (西原)



とっておきの物は？

10 年以上使っている iPod です。いろんな思い出と曲が詰まっています。



坂井 康司 さん (3 月号)
からメッセージ

自分のやりたいことを
やりながらこれからも
頑張ろう！



Column

協力隊リレーコラム

西高「そらだんCafe」のお話

はじめまして。12月に地域おこし協力隊に就任した谷口です。この広報紙を読んでいる方々の中には、お世話になった方々がたくさんいると思うので、改めてこういった形でコラムを書くのはなかなか恥ずかしい感じがします。

西会津高校は、先生方の面倒見が良く、アットホームな雰囲気がつとも魅力的な高校です。先生方が生徒たちのことを下の名前で呼ばれるのですが、なんだか家族みたくて素敵だなと思っています。わたしは、そんな環境で、生徒たちが気軽にグチを言ったり相談したりできる「そらだんCafe」という空間づくりに取り組んでいます。カフェと言っても、お店のようなカフェではなく、セルフサービスで好きな飲み物が飲めるようになっています。生徒たちは、ちょっと恋愛相談をしたり、雑談をしたり、学校がどうなったら良くなるか作戦会議をしたり。いろんな形でそらだんCafeを楽しんでいます。西会津高校に来られる際には、ぜひぜひ、「そらだんCafe」でお茶飲みしていただきたいと思います。



ひろ こ
谷口 紘子 隊員

奈良県出身。立命館大学大学院修了。2018 年秋から、おっさんフォトグラファーとして活動。2019 年 12 月より西高活性化対策分野の協力隊として活動中。



地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

にしあいづ物語100選 その36

文：田崎 敬修 さん

長岡藩若武者の墓

この話は、常楽寺に新政府軍の本営が置かれた、慶応4年（1868）10月13日（新暦）の昼下がりのことです。

会津戦争の時、会津一円は戦場となりましたが、野沢宿では戦乱の被害を受けることはありませんでした。

にがみず 苦水（現在の四岐川と雷山公園山麓などに挟まれた辺り）という所で農民たちが畑仕事をしていると、宿外れの一本杉の方から白鉢巻に紺かすりの色あせた白い袴の若い武士2人が狂ったように走って来たかと思うと、その後を数人の新政府軍の武士が声を立てて追って行ったのです。

やがて夕方近く、新政府軍の一隊に左右を囲まれ後ろ手に縛られ青ざめた顔の二人の若い武士が、坂の方から連れて来られました。農民たちの畑の所まで来ると本営まで連れて行くのが煩わしかったのでしょうか、その場で2人を簡単に斬ってしまったのです。憐れに思った農民たちは、亡骸を丁重に埋葬しました。武士の姉妹からもらったと思われる財布の中から藩と姓名が書かれた手紙が見つかり、2人は長岡藩士岡村半四郎と中田良平という武士であることが判明しました。当時、会津軍は城下を守備するため10月10日に津川から全軍撤退して舟渡に防衛の陣を敷いており、2人は撤退軍からはぐれ逃げ遅れたのでしょう。

2人の墓は常楽寺にあります。首と胴がバラバラだったため、首の墓と胴の墓に分けた墓石が2つ立っています。

参考文献＝『西会津町』



今も常楽寺に残る2人の長岡藩士の墓



お知らせ
平成30年12月から運用を開始している西会津町の公式ウェブサイト、公式ホームページのQRコードを掲載します。皆さん、ぜひご覧ください。



今月の表紙
2月22日に西会津小で行われた「西会津かるた大会」より。町の歴史や偉人、文化、自然をテーマにした町オリジナルのかるたを通して、児童の皆さんは楽しみながら町について学びました。（10ページに関連記事）